

<2030 年の SDGs 達成に向けた経営方針等>

建設業を通してマネジメントシステムとパフォーマンスの継続的改善を行うことで「安全で快適な生活環境整備」を基本として、地域の良質な原材料を利用するほか、ITC 施工システムを導入した安全で高品質な施工の提供や従業員が生きがいを持って快適に働ける環境を整えていきます。このような取り組みを継続・発展させることで、SDGs の実現を目指していきます。

<SDGs 達成に向けての重点的な取組み及び指標>

三側面	SDGs に関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	HV車の導入を進める。	2028 年までにHV車を 5 台導入する。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	従業員の有給休暇の取得を促進する。	全従業員が有給休暇を年間 10 日以上取得する。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ボランティア活動を実施する。	ボランティア活動を年間 3 件以上実施する。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

地方自治体や他の企業と共に、小中学校の校庭整備や土木の日・道の日の道路整備などのボランティア活動を通じて、地域の環境保全に取り組んでいる。

- 「SDGs に関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- 「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- 「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。